

ナマズ

分類：コイ目 ナマズ亜目 ナマズ科
 学名：*Parasilurus asotus*
 英名：Catfish, Bullhead

アジア大陸東部の日本から朝鮮(東海岸を除く)、中国、台湾にかけて広く分布し従来北海道には分布しないとされてきたが近年その生息が確認されたが在来種か、どうかは不詳である。体色は暗褐色で、口ひげは幼魚では6本、成魚では4本あって味覚神経が分布している。体表には鱗がなく滑らかで背鰭は小さく、しり鰭は長く伸び尾柄につながる。体型はイタチウオ型で頭は平たくおしつぶしたようである。流れの緩やかな河川や湖沼の砂泥底を好んで生息し、水草の繁茂したところに多い。夜間及濁水時に良く活動し餌をあさり、小魚、甲殻類、蛙、水生昆虫の幼生等、貪食する。成長は早く2年で30cm前後の成魚となる。体長50cm、煮付カバヤキで賞味。ヨーロッパナマズ(ダニューブナマズ)(*Silurus glanis*)は体長3m体重150kgに達する大型なまずでヨーロッパ中部・東部及西アジアの淡水域に分布する。



ヨーロッパナマズ
ハンガリー -1967-



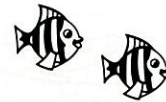
ヨーロッパナマズ
ルーマニア -1960-



ナマズ
朝鮮 -1975-



ナマズ
モンゴル -1965-



サカサナマズ

分類：コイ目 ナマズ亜目 サカサナマズ科
 学名：*Synodontis nigriventris*
 英名：Upside-down cat fish

数千年前のエジプトの壁画にも見られ、古来より珍魚として知られていた本種はコンゴ河流域の淡水域に生息し体重6~10cmの小型のナマズである。口は小さく、口ひげは糸状又は膜状で、多少とも総状を呈する、水蓮などの水生植物の表面に付着している水藻を常食とするため、さかさまになって泳ぐ逆姿勢のためこの名の由来があり捕食し易いためと考えられる、しかし身に危険が切迫したときなどは他の魚と同様の泳ぎ方で遁走する。体色は他の魚類が背部が暗色で腹部が淡色であるのに本種は腹部の方が暗色で、体色の決定が体の部位によるものでなく照明度にあることを示唆する。



ブルンジ -1974-



ブルンジ -1974-



オートボルタ -1969-



マリ -1976-



ルワンダ -1973-